

熊本地震における日建連の対応

はじめに

平成二十八年四月十四日、十六日の二度にわたり最大震度七を記録した熊本地震は、熊本、大分両県に大きな人的、物的被害を与えた。また、内陸型地震としては、余震活動が非常に活発であり、復旧活動に大きな支障となっている。ここでは、地震発生直後から応急復旧活動着手までの発災初期の日建連の対応状況について報告する。

九州支部の災害対策本部の体制

対策本部の設置状況、対策本部の構成は表1、表2の通り。

活動状況

復旧工事、技術者派遣と資機材の調達は表3および写真、表4の通り。

今後の課題

地震発生後からこれまでの日建連の活動を通

じて、以下の課題が明らかとなった。

① 日建連への要請方法について

日建連への要請ルートが発注者によってはまちまちであり、特に発災の初期段階では、統一的な窓口を通さず、現場レベルから会員会社へ直接要請があった。また、要請に対応する会員会社の特定手続きが確立されておらず、日建連としての対応に時間を要した。

—— 対応会社の特定手続きが明確となるよう協定書の改訂を協議する。併せて、協定内容に沿った要請方法が組織全体に徹底するよう要請する。

② 日建連支部事務局体制について

日建連支部事務局は、事務局長以下三名の体制であり、このレベルの災害発生に対応するには不十分であった。そのため事務局には多大な負担を強いることになった。

—— 災害のレベルに応じ、本部からの応援や会員会社からの応援態勢を整えておく必要がある。

③ 会員会社への情報連絡について

会員会社への情報連絡が的確に実施されていなかった。情報連絡の遅延等により、資機材調達等において会員会社に不安、不満を抱かせることとなった。

—— 災害対策本部業務の分担見直しや交代時の業務引き継ぎを的確に行うことで、情報発信の頻度、質を向上させるとともに参集会社以外の会社も積極的な情報収集の努力を促すこととしたい。

おわりに

熊本地震によるインフラ被害は、応急的な復旧を終えた段階であり、本格的な復旧が現在懸命に行われている。これまでの初期対応については、会員会社の全面的な協力や支部事務局の献身的な努力もあり、比較的スムーズな災害対応ができたと考えている。関係者には本誌面において、敬意と感謝を表したい。今後とも災害対策基本法に基づく指定公共機関となった日建連として、事前準備、訓練等を実施していくので会員各位のご理解、ご協力をお願いしたい。

表1 対策本部の設置状況

4月14日(木)	21:26	マグニチュード6.5 (益城町 震度7) 地震発生
	22:50	九州支部災害対策本部設置 (以降20日まで24時間体制で業務実施)
4月16日(土)	1:25	マグニチュード7.3 (西原村、益城町 震度7) 地震発生
4月21日(木)	8:00 ~ 22:00	体制に変更
4月27日(水)	9:00 ~ 18:00	体制に変更
5月12日(木)	8:45 ~ 17:15	(通常勤務時間) 体制に変更

表2 対策本部の構成

本部長	大成建設
副本部長	西松建設、梅林建設、安藤・間、鉄建建設、大林組
本部委員	鹿島建設、熊谷組、清水建設、戸田建設

表3 復旧工事及び技術者派遣

日時 曜日	時間	要請者	要請内容	対応状況
4月15日(金)	4:25	NEXCO 西日本	九州道熊本益城IC付近秋津川橋の橋梁被害、盛土法面崩壊現場への技術者派遣要請、復旧要請	同日、現地調査、復旧方法について協議、本震の影響により、16日に現地着手。上り線片側通行可、下り線施工中。
	8:40	NEXCO 西日本	熊本IC料金所ゲートの天井板撤去要請	同日、現地調査、16日工事着手、27日完了。
4月16日(土)	17:24	NEXCO 西日本	大分道由布岳PA付近の法面崩壊土砂の撤去、運搬に関し、重機の調達要請、18日土留め工事用資機材要請	同日、ペイローダー(3台)にて着手、併せて土留め工事も着手。上り線施工中。
	20:45	NEXCO 西日本	九州道(熊本IC~松橋IC)及び大分道(湯布院IC~日出IC)の橋梁被災状況調査のための技術者派遣要請、復旧要請	17日の現地調査、九州道3カ所(神園跨道橋、東原橋、府領第一橋)、大分道1カ所(福万川橋)が日建連担当。いずれも18日に着手。27日までに完了。
4月19日(火)	12:55	九州地方整備局	宇土市役所庁舎解体方法に関する技術者派遣要請	同日、技術者2名、解体専門技術者1名を現地派遣、22日再度技術者派遣。
4月21日(木)	16:00	NEXCO 西日本	九州道の跨道橋(2橋)について撤去要請	同日、NEXCOと調整後、22日着手、26日完了。
4月22日(金)	11:15	九州地方整備局	阿蘇大橋付近現地調査への技術者派遣要請	25日現地調査実施。
	16:30	NEXCO 西日本	九州道熊本IC付近PC橋サドル工事実施要請	翌23日現地調査実施、26日工事着手、27日完了。
4月26日(火)	11:00	九州地方整備局	阿蘇大橋地区崩壊土砂撤去のための協力要請	4月27日九州地整に災害応急対策協力調書を提出、28日施工会社特定。現在施工中。
5月20日(金)	14:30	九州地方整備局	熊本高森線俵山トンネル外復旧工事のための協力要請	5月26日九州地整に災害応急対策協力調書を提出、27日施工会社特定。現在施工中。



府領第一橋撤去



阿蘇大橋付近現地調査



俵山トンネル復旧工事

表4 資機材調達

日時 曜日	時間	要請者	要請内容	対応状況
4月21日(木)	10:00	政府現地対策本部	ブルーシート4,000枚調達要請	21日中に4,449枚グランメッセ熊本に納入(併せて土嚢大100袋、小10,000袋も納入)。
	14:00	政府現地対策本部	土嚢調達可能量調査、調達要請	熊本県の要請により、調達可能量100,000袋を北九州市の調達先から自衛隊により熊本へ運搬。23日完了。
5月2日(月)	15:54	政府現地対策本部	阿蘇市に対し土嚢5,000袋、PPロープ500巻、ブルーシート調達要請(土嚢5,000袋、取り消し)	5月3日ヤマト運輸久山ターミナルへブルーシート1,981枚、PPロープ170巻持込み。4日阿蘇市へ配送完了。